

**高松市公の施設指定管理者導入施設の  
評価結果に対する意見書**

**令和8年1月**

## 1 経緯

高松市公の施設指定管理者制度の適正かつ効果的な運用を図るため、指定管理者の自己評価及び市の所管課等評価を行った指定管理者制度導入施設のうち、令和9年度に更新を予定する施設の評価結果について、高松市公の施設指定管理者選定委員会からの意見書を提出するものです。

## 2 選定委員会委員

役 職	氏 名	役 職 名 等
委 員 長	藤 本 尊 載	香川県弁護士会
副委員長	國 村 年	日本公認会計士協会 四国会
委 員	佃 昌 道	高松大学・高松短期大学 学長
委 員	山 崎 隆 之	香川大学経済学部 教授
委 員	岩 田 健 生	香川県社会保険労務士会

## 3 評価対象施設

### (1) 評価対象施設件数

公募7件14施設 非公募1件1施設 計8件15施設

※詳細は別紙のとおり

### (2) 指定期間

令和4年4月から令和9年3月まで

※高松市仏生山交流センターについては、令和4年3月から令和9年3月まで

※高松市庵治ほっとぴあんについては、令和6年4月から令和9年3月まで

#### 4 導入施設全体について

全体的に適切な管理運営が行われており、指定管理者の日々の努力については評価できる。

個別施設で見ていくと、指定管理者より施設所管課の評価が低めの評価であった場合は、双方協議のうえ、評価の向上を目指した取組が必要である。

今後は施設の担う役割に応じて利用促進を目指し、更なる公共の利益に資するよう、より良い施設運営の継続を期待したい。

#### 5 個別施設について

##### 【公募施設】

##### ○「高松市仏生山交流センター」

当初の事業計画書の内容を達成しており、適切な管理運営がなされている。

複数のISO認証を取得し、確実な施設管理を行おうとしている姿勢や、積極的な広報・PR活動やイベントの開催が利用者増に繋がっており、仏生山エリアのにぎわいづくりに寄与していることは評価できる。

一方、研修室や会議室等の稼働率が平均50%程度となっている。さらなる稼働率向上に向けては、月によって大きく変動している来館者数の安定的な利用促進策の検討が必要である。

近年の賃金・物価高騰も踏まえ、コスト削減等による収益性の向上に努めるとともに、今後も引き続き地域のにぎわい創出拠点としての役割を果たされることを期待したい。

##### ○「高松市庵治ほっとぴあん」

当初の事業計画書の内容を概ね達成しており、適切な管理運営がなされている。

利用者アンケートにて、施設清掃が高評価であったことから指定管理者として公衆浴場の衛生等の向上や確保にかかる取組をしっかりと行っていること、また職員の身だしなみや応接態度なども高評価であったことは当委員会としては評価できる。

常連客が多く、新規の利用者の獲得が困難な状況の中、広告の掲載や健康増進を目的とした各種企画の実施や、高松市中小企業勤労者福祉共済事業「ウェルばる高松」の割引施設として認定を受けるなど、様々な利用促進策に向けた取組が、利用者数増に繋がっていないのは課題である。

今後も引き続き、イベント等の新規利用者の獲得に向けた取組の実施や、地域住民の保養と憩いの場としての役割を果たすことを期待したい。

##### ○「高松市鬼ヶ島おにの館」

当初の事業計画書の内容を達成しており、適切な管理運営がなされている。

高松市の文化的観光の発展に資するために設置された当該施設ではあるが、女木港に隣接しているため、委員会としては島の玄関口としての機能も有していると理解している。

このような背景を踏まえると指定管理者は、半分が島民で構成された特定非営利団

体であることもあり、地域の方とうまく連携しながら適切な管理運営がなされている点については評価できる。

一方で、事業報告については施設の管理運営や課題への取組状況の実態がやや分かりにくかったほか、アンケート結果を分析し、今後の施設運営に参考にするなど、報告書の内容については、施設所管課との協議が必要である。

また、現在の展示室の利活用状況からは、文化的観光の発展という本来の設置目的が十分に果たされているか疑問もあり、今後の施設の在り方や、展示室の利活用方法などについて、施設所管課との協議を要すると考える。

今後も女木島への来客数を増やすため、工夫を凝らした広報・PR活動などの取組に期待したい。

#### ○「純愛の聖地庵治・観光交流館」

当初の事業計画書の内容を概ね達成しており、適切な管理運営がなされている。

施設の利用方法として、マルシェや写真館など、地元住民が集う場所や機会の提供に努めていることは評価できる。

しかしながら、20年以上前の映画のロケセットを主とする施設のため、年々集客が難しくなっている現状を踏まえると、広報・PR対策、自治体や関係団体、地域との連携がより一層、必要である。また、事業報告については、課題への取組の実態が分かりにくく、アンケートの内容を施設運営の参考になるものに変更するなど事業報告書の内容について施設所管課との協議が必要である。

今後は、市内外の利用者の増加に努め、「純愛の聖地」としての知名度の向上及び収支のバランスがとれるよう、引き続き収益性の改善に向けた努力を期待したい。

#### ○「高松市道の駅源平の里むれ」

当初の事業計画書の内容を達成しており、適切な管理運営がなされている。

近年の物価高騰、最低賃金の上昇などにより、運営に苦慮しながらも、恒常行事の定番化やオリジナル商品の開発等、施設の強みを最大限に発揮できるよう、継続的に利用者を確保し、にぎわい創出に努めていることは評価できる。

引き続き、利用者ニーズの把握に努めながらこれまでのノウハウを活かし、各種イベントの開催や新商品の開発・販促などにより、道の駅としての人気の定着・拡大を図られることを期待したい。

#### ○「高松市屋島競技場」

当初の事業計画書の内容を概ね達成しており、適切な管理運営がなされている。

利用者数の年度目標を超えることはできなかったものの、規模の大きな試合や大会の誘致が実現し、競技場の利用実績及び知名度の向上に尽力した点や、中高生の体育祭等や積極的な自主事業の実施など、幅広い世代にスポーツの機会を提供したことは評価できる。また、当初の事業計画にあった、障がい者の個人利用金額の減額が実現できた点についても、指定管理者の努力が伺える。

一方で、積極的な自主事業の充実の反面として、個人利用が使いづらいと感じることがあるとの意見もあり、これらの意見も踏まえたうえで、より一層、公正・公平な施設利用を図るべく検討を行う必要がある。

今後も、継続的にプロスポーツの試合や大きな大会の誘致など、来場者数や稼働率向上に向けた取組に期待したい。

○「高松市中央駐車場ほか7駐車場」

当初の事業計画書の内容を概ね達成しており、適切な管理運営がなされている。

各施設の安全な利用のため、維持補修を適切に実施しながらも、意識した経費削減がなされており評価できる。

今後は利用者数が減少傾向にあるため、施設情報を発信するなどの継続的な利用促進はもとより、地域及び関係団体との連携、高松琴平電気鉄道利用者への対応など、サービスの向上についても努めていただきたい。

また、高松市中心部での駐車場環境の変化が見込まれることから、利用状況の変化に応じた対策が適宜講じられていくことが望まれる。

【非公募施設】

○「高松市夜間急病診療所」

当初の事業計画書の内容を達成しており、適切な管理運営がなされている。

高松市の医療体制の一翼を担う施設としての役割を十分に果たしている。年中無休で複数名の医師が夜間診療を行っていることは、市民の安心感につながっていると考える。

利用状況を踏まえると、耳鼻科、眼科の廃止は致し方ないと考えますが、引き続き内科・小児科の充実を期待したい。

利用者アンケートの満足度も概ね良好であり、今後も高松市の夜間における初期医療の拠点として、市民の健康保持に寄与していただきたい。

別紙 評価対象施設

【公募施設】 14施設

No.	施設名称	指定管理者
1	高松市仏生山交流センター	あなぶき・ことでんコンソーシアム
2	高松市庵治ほっとぴあん	株式会社オクト
3	高松市鬼ヶ島おにの館	特定非営利活動法人瀬戸内・女木アイランド振興会
4	純愛の聖地庵治・観光交流館	JR 四国不動産開発株式会社
5	高松市道の駅源平の里むれ	株式会社四国にぎわいネットワーク
6	高松市屋島競技場	四電工グループ
7	高松市立中央駐車場ほか7駐車場 < 8施設 > <ul style="list-style-type: none"> <li>・高松市立中央駐車場</li> <li>・高松市立南部駐車場</li> <li>・高松市立美術館地下駐車場</li> <li>・高松市立杣場川駐車場</li> <li>・高松市立瓦町駅地下駐車場</li> <li>・高松市立瓦町地下自転車駐車場</li> <li>・高松市立栗林公園駅前自転車駐車場</li> <li>・高松市立端岡駅前自転車駐車場</li> </ul>	高松市立駐車場等管理共同企業体

【非公募施設】 1施設

No.	施設名称	指定管理者
1	高松市夜間急病診療所	一般社団法人高松市医師会